

項目	取組の実施状況		目標の達成状況		課題と今後の方向性	
	番号	取組内容	評価結果	目標と実績		評価結果
3-(2) ICTを活用したサービス向上と業務プロセス改善	①	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバー制度の導入に向け、国が示すスケジュールに沿って通知カード・個人番号カードの交付体制の構築を進めるとともに、マイナンバーを取り扱う業務システムの改修を進めるなど、着実に作業を進めたものの、本市への申請・届出事務の実態調査や制度活用の検討には至らなかった。 	B	<p>【目標】 国のスケジュールに着实に対応するとともに、本市独自施策の検討結果をとりまとめ</p> <p>【実績】 国が示すスケジュールに沿って通知カード・個人番号カードの交付体制を構築し、マイナンバーを取り扱う業務システムの改修を進めることはできたが、本市独自施策の検討には着手できていない。</p>	II	<ul style="list-style-type: none"> 通知カードは郵送の遅れ、個人番号カードは国のシステムトラブルによりカード交付に関わって今も混乱が続いているため、本市独自施策の検討はできなかった。国のシステムなどカード交付の問題が解消されれば速やかに検討に着手する予定である。
	②	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の利用環境を改善するため、予算要求における手続きを簡素化し導入の容易性を高めた。 タブレットを活用した業務改善及び将来的な業務システムへの利用拡充に向けて、8部署に貸出しをするとともに、最長2週間の短期貸出を実施した。 	A	<p>【目標】 取組状況などの成果を公表</p> <p>【実績】 随時、活用事例を庁内ポータルに掲載しており、平成28年3月時点において、17件とりまとめ、成果を公表した。</p>	I	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、タブレットを活用した業務改善を進めるため、タブレットの貸出しを行う。また、成果についてとりまとめ、所属内における担当業務でのタブレットの利活用を進める。
	③	<ul style="list-style-type: none"> マイコミおおさかは一旦中断し、ツールの改善・強化方法を検討した。 ICT活用による市民協働を促進するため、市民や民間プログラマーが地域課題の解決をめざしたアプリを開発するハッカソン等の取組を支援した。 	A	<p>【目標】 取組状況などの成果を公表</p> <p>【実績】 平成27年9月にアイデアソンを、平成27年11月にCivic Techハッカソンを開催した。また、成果については、市のホームページ上で公表した。</p>	I	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、継続して、市民や民間プログラマーが地域課題の解決をめざしたアプリを開発するハッカソン等の取組を支援するなど、ICT活用による市民協働を促進する。
	④	<ul style="list-style-type: none"> 地価公示など6つのデータセットを新たに公開した。 AEDなど新たなデータセットを公開した。 ビジネス分野におけるデータの利活用の促進によるイノベーションを創出させるため、オープンデータ・ビッグデータカンファレンスを2月に開催した。 データカタログサイトを3月に公開し、オープンデータの利用を通じて、市政への参画の促進を図るため、市民によって開発された「PUSH大阪」、「大阪もよりナビ」などのアプリを活用事例として、紹介を行った。 	A	<p>【目標】 公開データ数を増加するとともに、利用しやすいカタログサイトを構築</p> <p>【実績】 <ul style="list-style-type: none"> 地価公示、AEDなどのデータセットを公開し、データカタログサイトを公開した。 平成28年2月に『オープンデータ』・ビッグデータカンファレンスを実施した。 </p>	I	<ul style="list-style-type: none"> 公開データ数を増加し、カタログサイトの充実を図っていく。

【評価結果の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部実施できない取組があった C：実施できなかった
 〔目標の達成状況〕 I：概ね達成できた II：達成できなかった